

静岡牧之原茶マスコット「チャーフィン」のミニ絵本について

1 目的

静岡牧之原茶にストーリー性を持たせ、お茶の妖精が住むまち「牧之原市」として、牧ノ原大茶園に行ってみたくなるようなイメージを創出。

お茶の妖精「チャーフィン」の夢は、静岡牧之原茶の香りを世界中に届けること。しかし、自分の力では空に飛び立つことができず悩んでいると、海でサーフィンをする女の子と出会い、お茶の葉っぱを使って風に乗れば空に飛び立てることを発見。お茶の葉サーフィンで、世界中にお茶の香りを届けるために旅立つというストーリー。

多くの人に手軽に読んでいただくため、携帯性を重視したミニ絵本として作成。

今後は、さまざまなイベントで配布、また、お茶とセットにしての販売などで活用していく予定。

2 タイトル

「チャーフィンのたびだち」

3 作成者

牧之原市茶業振興協議会 宣伝隊

4 絵本作者

牧之原市内居住 岩本陽子 氏

5 作成部数

5,000 部

6 対象年齢

小学校低学年 ~ 一般

7 活用方法

- (1) 希望事業者に配布し、お茶購入者にプレゼント
- (2) 各イベントでのプレゼント
- (3) お茶とセットにしての販売 等

8 「チャーフィン」のプロフィール

- ・お茶の葉の妖精 ・年齢：3歳 ・性格：好奇心旺盛な男の子
- ・特技：お茶の葉サーフボードで、牧ノ原大茶園を風に乗ってサーフィンする。
- ・夢：お茶の葉サーフィンで風になり、静岡牧之原茶の香りを世界中に届ける。

9 担当

牧之原市茶業振興協議会事務局（牧之原市産業経済部お茶振興室）